

竜巻による損傷の防止に係る対応方針

対応方針の基本事項

- ヒアリングにおいては、話題となった事項の具体的な対応方針を明確にするとともに、作業者の理解を深め、共通認識の下に対応していくため、本資料に記載して共有する。なお、当日の振り返りにおいて方針を明確にできなかった事項についても、事後検討の上で方針を記載して提示する。
- 対応方針としては、コメントリストのような言われたことのみに対応する進め方ではなく、作業項目等の体系を整理し、類似の事項や関連する事項を集約して一貫性のある対応（適宜、関連事項への水平展開を図るなど）としてタスクを整理することとする。
- 対応方針の整理においては、作業の目的を明確にし、目的達成のための具体的な作業の方向性や実施事項、留意事項等について、段階的に実施するものはそのプロセスも含めて明確にする。
- 作業漏れを防ぐために個別具体的な事項を記載する場合には、煩雑にならないよう留意する。

※本タスクに関連する対応方針を示すが、共通12本文等の共通的な方針に反映が必要な事項については、他のタスクとの関係性の欄において共通12本文等のタスクと紐づける。

No	対応方針	対応予定日	他のタスクとの関係性	ヒアリング
1. 共通12事前作業に係る対応方針（説明すべき事項の整理、DBとSAの関係整理、設計と評価の関係整理）				
1.1 設計説明分類間における共通項目の整理及び分類内の代表の整理				
①	<p>○基本設計方針を踏まえた評価要求と構造設計等の設計項目の整理（添付1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計方針を踏まえて「設計項目」を漏れなく抽出するとともに、設計説明分類毎の基本設計方針に記載された設計要求（説明すべき事項）を比較し、共通する要求事項を整理することを目的とする。整理後、設計説明分類間の代表として説明する設計説明分類を選定する。代表の選定にあたっては、より多くの説明が可能となる設計説明分類を選定する。 ・共通する要求事項を整理するに当たり、8条竜巻の基本設計方針の要求種別を踏まえ、設計項目(システム設計、構造設計、配置設計、評価)を設定する。 ・要求種別の設定においては、「外竜巻00別紙2」の要求種別を参考に設定するが、次の点に留意する。竜巻の基本設計方針で「構造強度評価を行い、構造健全性を維持する」と記載されている場合は要求種別を「評価要求」として整理されているが、評価を行うためには構造強度が確保できる構造設計が前提であるため、機能要求を果たすために必要な設計項目（システム設計、構造設計、配置設計、評価）を抽出することとする。 <p>➡8条竜巻の基本設計方針に対して、設計と直接関連しない「外竜巻00別紙2」の要求種別を参考に冒頭宣言、定義、運用要求に係るものを判別したうえで、「外竜巻00別紙2」を参照して基本設計方針に紐づく「主な設備」から、当該の基本設計方針と関係する設計説明分類を特定し、設計説明分類ごとに設計要求内容を記載する。</p> <p>➡異なる設計説明分類間での共通する設計要求内容を特定し、共通であると考え理由について示す。</p> <p>➡基本設計方針の要求種別の設定にあたっては、外竜巻00別紙2記載の要求種別に拘ることなく、機能要求を果たすために必要な設計項目（システム設計、構造設計、配置設計、評価）を抽出し、設計説明分類ごとに設計項目の設計要求内容を記載する。</p> <p><代表となる設計説明分類の整理></p> <p>➡一つの分類で多くの内容を説明できるよう多くの設計要求内容を受け取るものから代表を選定する。</p> <p><今後の予定></p> <p>36条竜巻分について同様の整理を行い、8条の整理結果に加える作業を行う。</p>	<p>9月14日</p> <p>↓</p> <p>方針として設定すべき事項は、共通12本文への反映</p>	<p>共通12に係る対応方針(1.1④)</p>	<p>8月17日</p> <p>8月24日</p> <p>9月5日</p>

No	対応方針	対応予定日	他のタスクとの関係性	ヒアリング
②	<p>○DB/SAの類似となる設計方針の整理（添付2）</p> <p>・竜巻に係るDBとSAの竜巻に係る基本設計方針を比較し、設計方針の対応関係を整理・分析することで、SAの設計要求内容はDBの設計要求の整理内容とまとめて説明が可能であることを整理することを目的とする。</p> <p>➡「安全審査 整理資料 第33条 重大事故等対処設備 補足説明資料2-2 添付-1(令和2年7月13日R29)」のフォーマットを用いて、DBの第1章の基本設計（竜巻）に対応するSA（竜巻）の基本設計を展開し、設計方針の対応関係を整理する。（環境条件のみならず、36条要求のうち位置的分散などの竜巻に係るもの含む）</p> <p>➡整理したDB/SAの基本設計方針の比較に紐づける形で、DBとSAの設計要求内容を縦軸に並べる。</p> <p>➡設計要求内容を比較・分析することで、要求事項を達成するための対策内容に係るDB/SAの設計の差異を抽出する。SAの設計のうち、DBの説明と重複しない設計要求内容についても、DBとまとめて説明することが合理的かどうか確認する。</p>	<p>9月14日</p> <p>↓</p> <p>方針として設定すべき事項は、共通12本文への反映</p>	<p>共通12に係る対応方針（1.1⑤）</p>	<p>9月5日</p>
③	<p>○SAを含む構造設計等に係る説明の類型化、代表による説明に係る整理</p> <p><設計説明分類内での代表設備の整理>（添付3）</p> <p>・設計説明分類内の設備から代表設備を選定するために、共通して説明出来る設備を整理することを目的とする。</p> <p>・まず、DB設備を対象に設計説明分類と基本設計方針の対応関係を元に整理し、同じ説明項目となる施設（設備）をまとめる。その後、SAを加えて同様の作業を実施する。</p> <p><共通する設計要求の整理></p> <p>➡①項の整理した設計説明分類と基本設計方針との関係を元に設計説明分類毎に係る基本設計方針を縦軸に展開する。</p> <p>➡横軸に資料1の設備リストに掲載している機器のうち同じ設計説明分類に属する機器を並べ、全て同じ説明項目となる施設（設備）を統合する。</p>	<p>9月14日</p> <p>（SA分については別途実施）</p>	<p>—</p>	<p>8月17日</p> <p>8月24日</p> <p>9月5日</p>
④	<p>○「解析・評価等」の具体の設備等の設計の整理</p> <p>共通12本体側による方針を踏まえて決定する。</p>	<p>—</p>	<p>共通12に係る対応方針（1.1⑥）</p>	<p>—</p>